

## 指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	止々呂美ふるさと自然館（本館・野外活動緑地）
指定管理者名	株式会社スノーピーク
開催日	平成29年（2017年）9月30日（土）・10月1日（日）
開催場所	止々呂美ふるさと自然館本館（体験学習室）
合議の出席者	キャンプ雑誌編集 フリーライター 鈴木 アキラ 氏 キャンプ雑誌編集 フリーライター 岡田 好江 氏 施設利用者 代表 酒井 勝美 氏 止々呂美まちづくり協議会 会長 北田 多加雄 氏

【概要】別添のとおり

<p>内容</p>	<p>平成29年10月1日(日)に止々呂美ふるさと自然館本館(体験学習室)にて、指定管理者に係る合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。</p> <p>1) 止々呂美ふるさと自然館を体験利用して</p> <p>①最近の傾向として、ユーザーがSNSで写真をアップするのでWi-Fiができれば便利である。</p> <p>②キャンプ場内の受付(管理棟)で物販の量を増やす、またふるさと自然館で土日だけでも止々呂美の野菜等を売るのはどうか。</p> <p>③スタッフが少ない中で大変であろうが、トイレや洗い場が汚い。スタッフの熱意が低下していると感じる。ゴミや草刈りができておらず、写真撮影するのに良い風景が撮れない。現在、アウトドアブームであり、整備が行き届いた人気のあるキャンプ場との二極化が進むのではないかと懸念している。</p> <p>④開設当初に比べ草刈りや道路も荒れてきている印象がある。地元の多くの人がキャンプ場のことをあまり知らない。例えばサービスデーなどを設けてくれれば、もっと周知されると思う。</p> <p>⑤指定管理者が変わらないことに安心感があり、今後も継続してほしい。</p> <p>上記のようなご指摘、評価を頂戴いたしました。指定管理者からは、「簡易な修繕や日常の清掃はもちろん行っていますが、大がかりであったり費用が多くかかるものは市と相談して進めています。頂戴したご意見全てに対応はできていません。また、自然を相手とする業務であるため、キャンプ事業だけで採算を取るのが難しくなっており、キャンプ事業へのウェイトが物販や自主事業に傾いてきています。草刈りほか修繕作業は職員が休日に行うなどの努力もしていますが、費用が多くかかることについては抜本的に改善することが難しいです。費用をかけずに改善する方法について市と知恵を出しあいたいと考えます。」との回答をいたしました。</p> <p>2) アンケート・意見交換会の結果を踏まえて アンケート結果の概要及びアンケートに対する指定管理者の考え、意見交換会の概要及び意見に対する指定管理者の考えについて、指定管理者より説明しました。アンケートの意見で多く出ている料金面の高さについては、都会からのアクセス面がよいので、他のキャンプ場と比較しても料金面で高いとは感じないとの評価をいただきました。</p> <p>3) 止々呂美ふるさと自然館の魅力、サービスの向上にむけて</p> <p>①地元のかたや地元団体が負担に感じない範囲で、指定管理者と地元が具体的にどのような連携をするのかを考える、例えば地元の食材を使った料理教室などイベントが増えれば活気が出るのではと思う。</p> <p>②地域が高齢化の一途であり、農作物や朝市の開催などで頑張っているが、地域活性化のため指定管理者には頑張してほしい。</p> <p>③市、指定管理者、まちづくり協議会などでキャンプ場運営について話し合うことが必要であると思う。</p> <p>④指定管理期間を終えてもスノーピークに運営を続けてほしい。</p>
-----------	--

#### 4) 総評

重点的に議論された内容としては、施設の清掃等について、地元との一体感や協働についてでした。

多くのご指摘・課題からも、本来のキャンプ事業を主体とした施設の良好な管理運営を行うため、改めて地域の活性化への期待、施設・職員の熱意や活気、料金とサービスのバランス、また今後のキャンプ場のあり方について再考する必要があると考えます。

スノーピークが継続して管理運営することを望む声に沿えるよう、また新名神高速道路の開通による更なる集客と合わせて、これまで以上に施設が活性化することを考えていく必要があります。

市といたしましても、多くの課題があることを認識し、今後も指定管理者と協働して施設・地域の活性化に向けて取り組んでいきたいと考えます。

種々の課題があるものの、総じて指定管理者として良好な運営を行っているとして市として評価いたします